

空き家を活用して

里山を活性化しよう

1. 里山の現状

- ・人口が減少し集落が衰退
- ・農業の担い手が不足



2. 金沢市からの要望

- ・里山地域の活性化
- ・移住・定住を促進
- ・耕作放棄地を活用

3. 空き家の問題点

- ・里山の景観を壊している
- ・水回りの衛生状態の悪化
- ・畳の劣化



カビが繁殖した水回り

4. 理想の状態

- ・県外からの移住者を増やす
- ・子供が将来里山に還元するようになる

6. 空き家の利用に関する調査結果

建築基本法、金沢市まちづくり条例等の規制、市街化調整区域であることから里山地域を開発することが不可能

→住宅のまま利用する必要がある

5. 要求仕様



7. バイオ化学部の専門知識を生かしたアイデア

空き家の庭にビオトープ

- (1)地域の小学校の生徒と学習しながら空き家にビオトープを作製する。
学習とは…生態系の調査
絶滅危惧種の把握

- (2)空き家を売り出す。
- (3)移住してもらう。

畳を傷みにくくする工夫



炭の効果 ①除湿②脱臭③防虫等

水回りをきれいに保つ工夫

○水分解光触媒 Sn_3O_4
水回りの余分な水分を無くすることで清潔に保つ
→可視光での水分解が可能
安価で毒性が低い

- 自然環境の魅力をアピール
- 移住者と地域住民との密接な関係を築く

2016年度プロジェクトデザインII
クラス チーム番号:B305-1
チーム名: ココナッツ
メンバー: 中村宜嗣 内田有香 中西瑛太
種村晃汰 塚越龍星 山本未希
担当教員: 谷田育宏 先生

